



本会記事

■広報委員会だより

「小学生のための夏休み『自由研究』教室」 (日本大学理工学部) への出展

平成30年7月21日(土)に日本大学理工学部において開催された「小学生のための夏休み『自由研究』教室」に出展しました。本年度で11回目を数える恒例のイベントで、本学会は、初回より演習実験協力の形で、「プラズマであそぼう」のコーナーを担当しています(図1)。

イベント当日は、会場となった日本大学理工学部駿河台校舎のホールに約500名の親子連れが来場して学科や学生サークル、付属高校などが出展したブースで自由研究課題に取り組み、また本学会の担当するコーナーで演習実験を楽しんでいました。

本学会によるコーナーには、広報委員が持ち寄ったプラズマの性質や関連技術を紹介する演習実験装置が並べられ、また、広報委員会が作成したプラズマに関するクイズやパネルを展示しました。子どもたちはもとより、引率の保護者からも大変興味を集めました。

クイズは、楽しみながらプラズマについて知ってもらえるように学会のパンフレットと対応させ、正解するとスタンプがもらえる形式になっており、例年、子どもたちの人気を集めています(図2)。核融合科学研究所からは超伝導磁気浮上列車の模型や気圧と放電の関係を体験する注射器火花放電装置(図3)をご提供いただきました。量子科学技術研究開発機構からは、ITERに関するポスターなどに加えジャイロトロン窓に使用されるダイヤモンドをご提供いただき、氷を用いた演習実験によりダイヤモンドの物性について説明しました。日本大学・浅井研究室からは、テスラコイルを変調させ放電音により演奏する装置や白熱電球でつくったプラズマボール、グライディングアーク、大気圧プラズマ装置など、同研究室で製作された演習実験装置が多数出展されました。

これらの資料や展示物について、ご所属の機関のオープンキャンパスなどのイベントでの公開を希望される方は広報担当理事か事務局までお問い合わせください。

なお、イベント当日は、本学会広報委員会から、浅井朋彦、浅野史朗、磯部兼嗣、久保博孝、畑山明聖、水野貴敏、吉沼幹朗の7名が参加しました。事務局からも杉山さんが参加され、また、日本大学・浅井研究室からは助手の関口さん、大学院生の川合さん、小林さん、佐原さんにもご協力をいただきました。

広報委員会では、冬には名古屋大学において、同様のイベントへの出展を行っております。本欄でも毎回紹介しておりますので、詳細につきましては過去の記事もご参照ください。これらの活動は、本学会の会員が所属する機関等が主催する既存の科学イベントに相乗りし会員が持ち寄る形で展示を行うことにより、低コストで効率の良い広報活動を模索するものとして開始されました。会場では子どもたちの口から「プラズマ」などの言葉も

よく聞かれるようになり、本学会が関連する分野に関する広報活動として、一定の効果が得られています。

また委員会では、学会公式Facebook [1]を立ち上げ、SNSを利用した新たな広報活動の展開も進めています。広報に関するアイデアや、広報すべき情報等、皆さんのご意見をぜひ委員会までお寄せください。

(広報委員会)

[1] プラズマ・核融合学会公式Facebookページ,
<https://www.facebook.com/PlasmaScienceandNuclearFusion/>



図1 「プラズマであそぼう」のコーナー全景。



図2 クイズに挑戦する小学生。



図3 注射器火花放電装置。